

平成24年3月

野中道子 学位論文審査要旨

主査 池口正英
副主査 紀川純三
同 原田省

主論文

Activation of the mitogen-activated protein kinase kinase/extracellular signal-regulated kinase pathway overcomes cisplatin resistance in ovarian carcinoma cells

(MEK/ERK経路の活性化は卵巣癌におけるシスプラチン耐性を克服する)

(著者：野中道子、板持広明、川口稚恵、工藤明子、佐藤誠也、上垣憲雅、浪花潤、
佐藤慎也、島田宗昭、大石徹郎、寺川直樹、紀川純三、原田省)

平成24年 International Journal of Gynecological Cancer 掲載予定

審査結果の要旨

本研究は上皮性卵巣癌由来細胞株とヌードマウスの癌性腹膜炎モデルを用いて、MEK阻害剤、PI3K阻害剤およびMEK/ERK賦活剤がCDDP感受性に与える影響を検討した論文である。CDDPとMEK/ERK賦活剤の併用添加で、chk1とchk2蛋白発現は抑制され、殺細胞効果において相乗効果を認めた。この併用投与は癌性腹膜炎モデルの平均生存期間を有意に延長した。したがって、本研究は卵巣癌におけるCDDP耐性克服にはMEK/ERK経路の賦活化が有効であることを明らかにし、明らかに婦人科腫瘍の分野において、学術の水準を高めたものと認める。